

# Windows8.1 から Windows11 に パソコンを入れ替える方へ

《EX-TREND 武蔵 シリーズのデータ・設定の移行手順》

## Windows8.1→Windows11 への移行の流れ

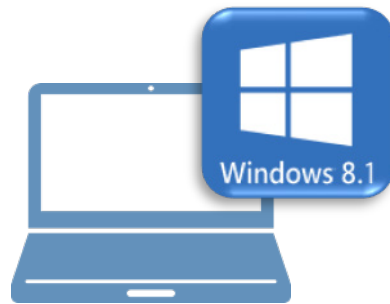


### Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

### Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ EX-TREND 武蔵のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ 入力専用ライセンスの初期設定
- ⑦ データ・設定のリストア（復元）
- ⑧ セキュリティソフトの除外設定



## Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



# 1 データ・設定のバックアップ

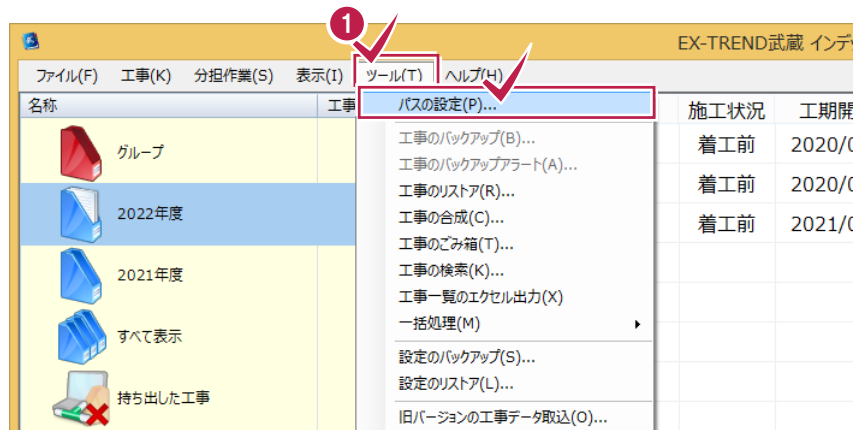
まず、旧パソコン（Windows8.1）のEX-TREND武蔵で、「工事データ」と「設定」をバックアップします。

## 1-1 工事データをバックアップする

工事データをバックアップする手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

① まず、バックアップ先のフォルダーを確認します。

インデックスの  
[ツール] - [パスの設定]  
をクリックします。



② 「バックアップデータ」の「パス」を確認します。

ここで設定されているフォルダーに、バックアップ  
されます。

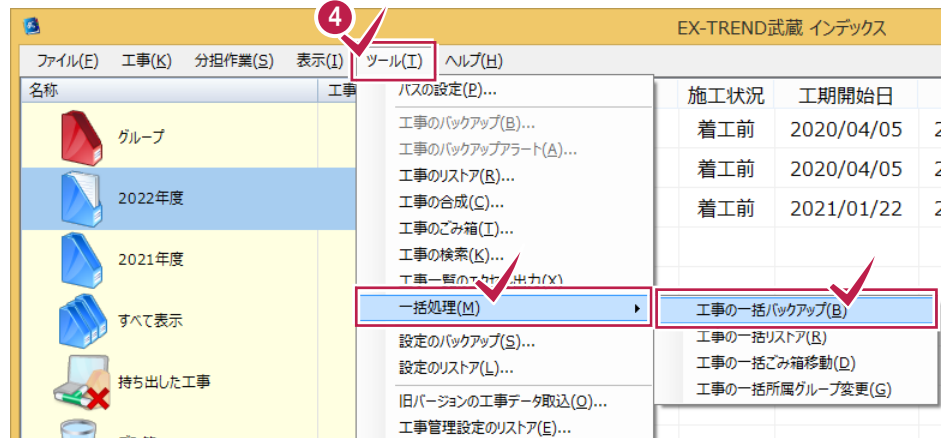
③ 確認を終えたら [閉じる] をクリックします。



バックアップ先のフォルダーを変更する場合は、「バックアップデータ」を選択し、[変更] ボタンをクリックしてフォルダーを指定します。

4 バックアップを実行します。

インデックスの  
[ツール] - [一括処理] -  
[工事の一括バックアップ]  
をクリックします。

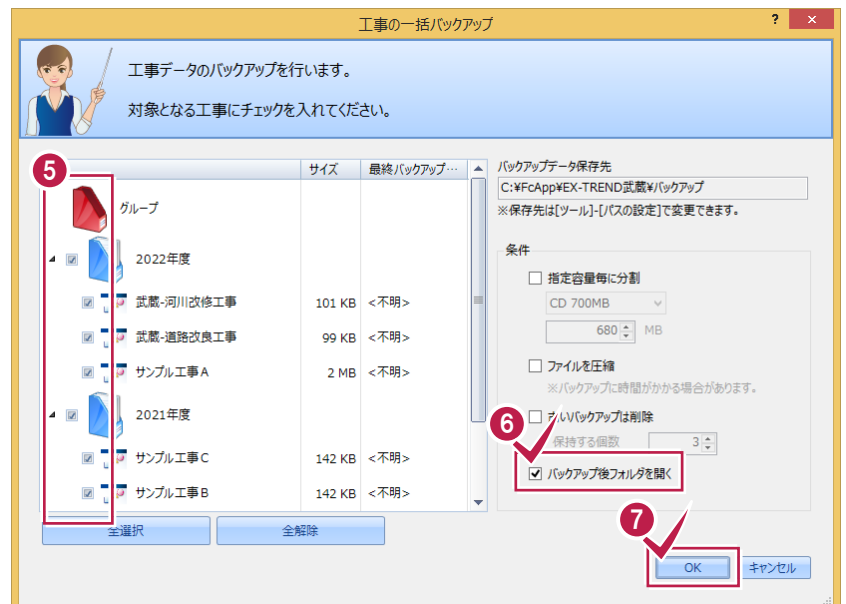


5 バックアップする工事のチェックボックスを「オン」に  
します。

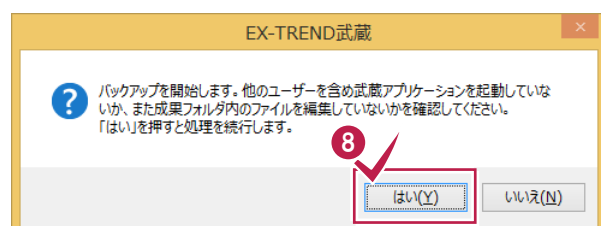
すべての工事をバックアップする場合は [全選  
択] をクリックします。

6 [バックアップ後フォルダを開く] のチェックを  
「オン」にします。

7 [OK] をクリックします。



8 [はい] をクリックするとバックアップが開始され  
ます。

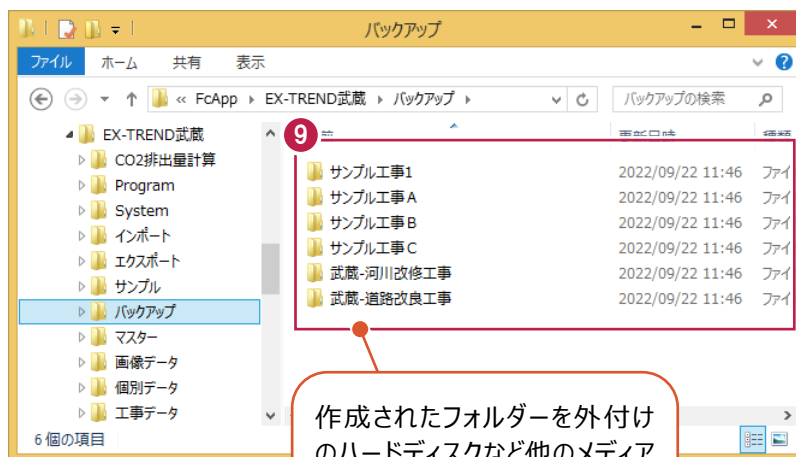


9 バックアップが完了すると、バックアップ先のフォルダーが開きます。

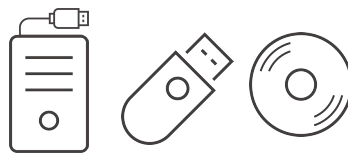
工事データ毎にフォルダーが作成され、工事データのバックアップファイルが格納されます。

このフォルダーを外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「工事データのバックアップ」は完了です。



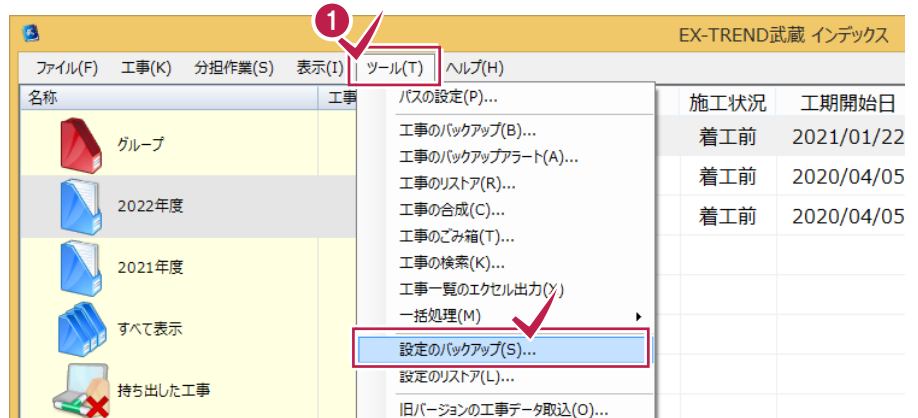
作成されたフォルダーを外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



## 1-2 設定をバックアップする

設定をバックアップする手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 インデックスの [ツール] - [設定のバックアップ] をクリックします。



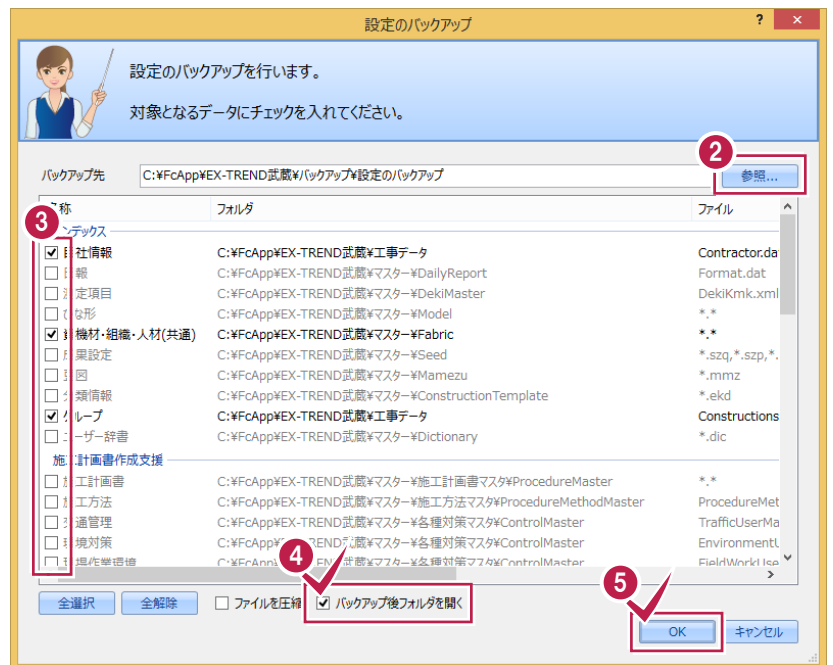
- 2 [参照] ボタンをクリックして、バックアップ先のフォルダーを指定します。

- 3 バックアップする設定のチェックボックスを「オン」にします。

すべての設定をバックアップする場合は [全選択] をクリックします。

- 4 [バックアップ後フォルダを開く] のチェックを「オン」にします。

- 5 [OK] をクリックします。

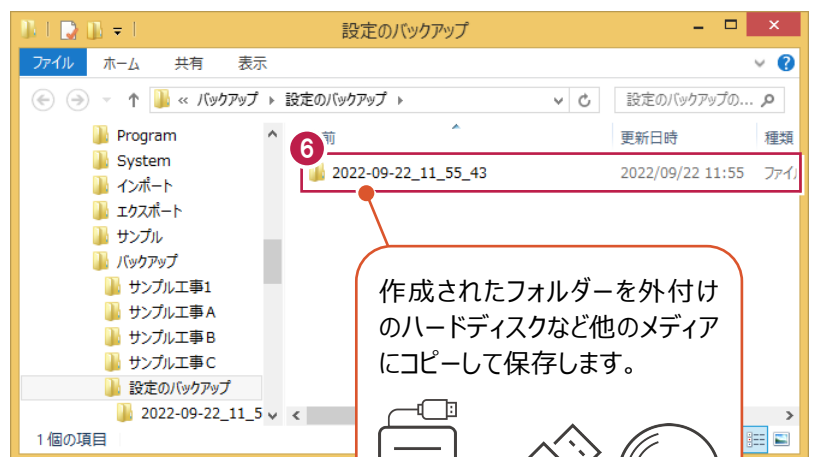


- 6 バックアップが完了すると、バックアップ先のフォルダーが開きます。

バックアップした「日時」のフォルダーが作成され、設定のバックアップファイルが格納されます。

このフォルダーを外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「設定のバックアップ」は完了です。





## 2

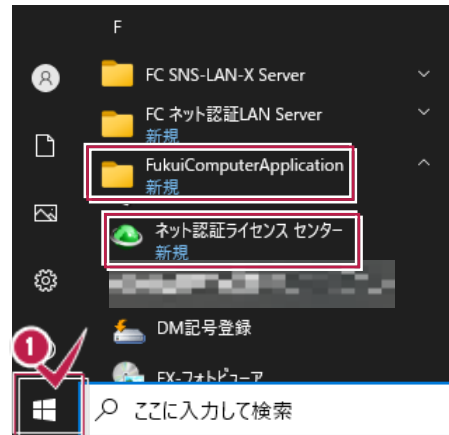
# ライセンスの解除

旧パソコン（Windows8.1）で使用しているライセンス」解除します。  
ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows11）でライセンスを認証することができません。

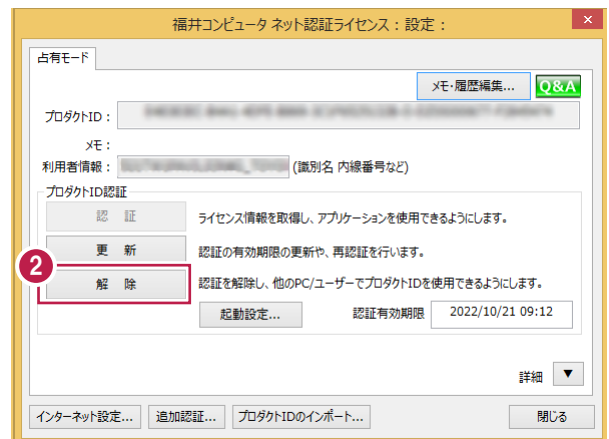
### 2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

もしくは、スタートメニューから、  
[FukuiComputerApplication] -  
[ネット認証ライセンスセンター] を起動します。



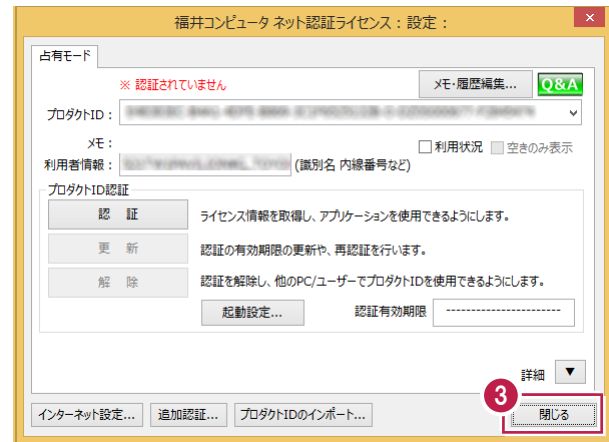
- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。  
[解除] を押すとネット認証が解除されます。





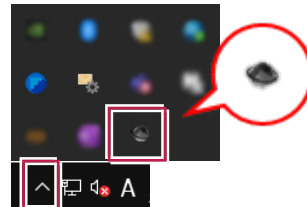
③ [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ネット認証ライセンス（占有）の解除」は完了です。

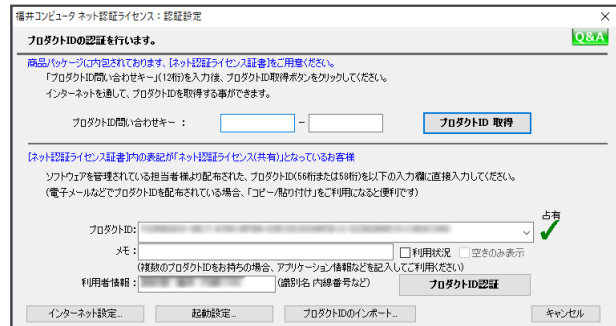


### 補足

ネット認証ライセンスセンターのアイコンが右図のように黒くなっている場合は、ライセンスは「解除」済みです。



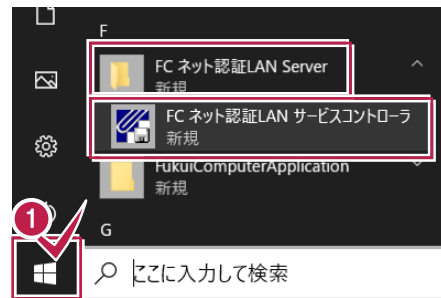
また、ネット認証ライセンスセンターを起動したときに右図のように [認証設定] の画面が表示された場合は、ライセンスは「解除」済みです。





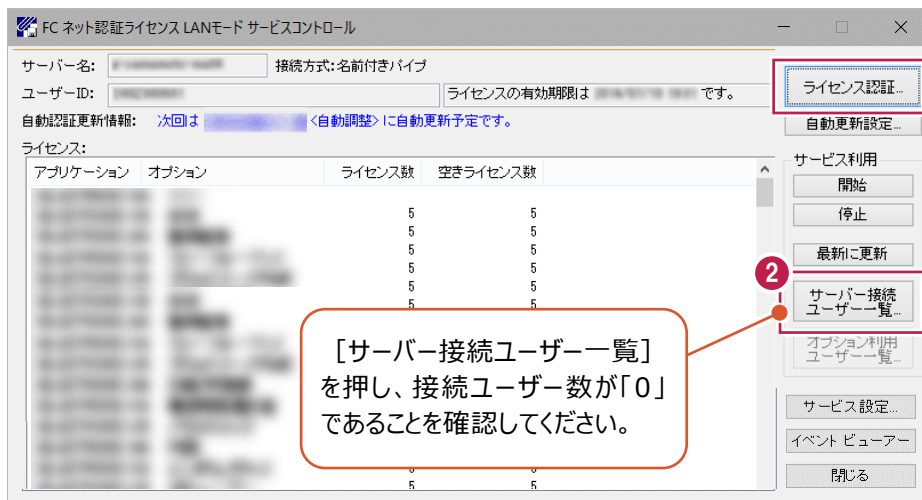
## 2-2 ネット認証ライセンス（LAN）を解除する（サーバー）

- 1 スタートメニューから、[FC ネット認証 LANServer] - [FC ネット認証 LAN サービスコントローラ] を起動します。



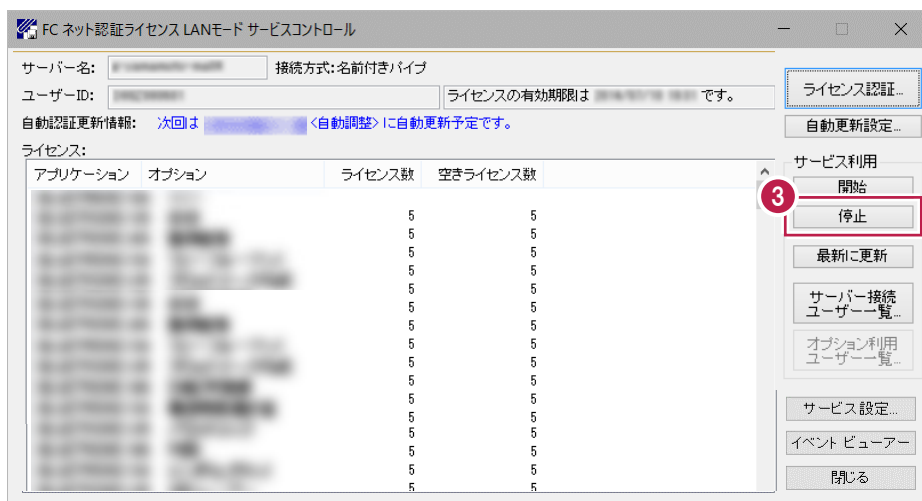
- 2 [ネット認証ライセンス LAN モードサービスコントロール] 画面が表示されます。

[サーバー接続ユーザー一覧] を押し、接続ユーザー数が「0」であることを確認後 [ライセンス認証] を押します。  
[設定] 画面が表示されますので [解除] を押します。



- 3 [サービス利用] - [停止] を押します。

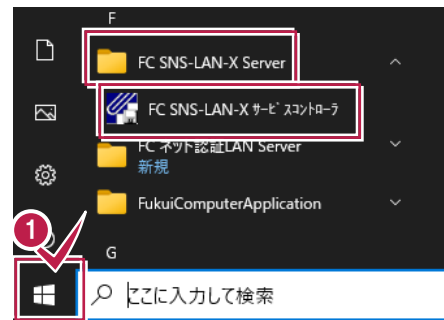
ライセンスの解除完了後は、旧サーバーマシンの「FCネット認証LAN Server」をアンインストールしておくことをお勧めします。



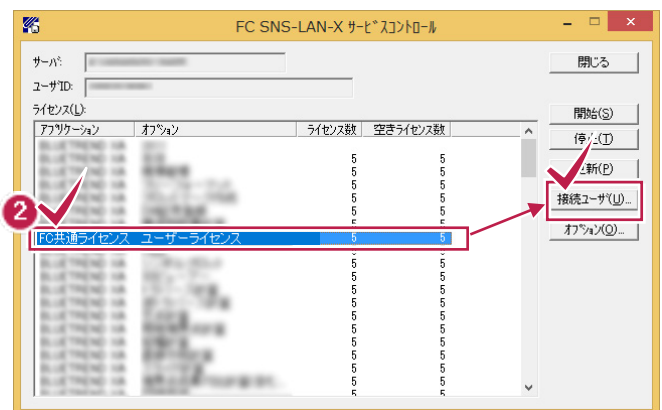
以上でネット認証ライセンス（LAN）の解除は完了です。

## 2-3 USBプロテクト (SNS-LAN-X) を解除する (サーバー)

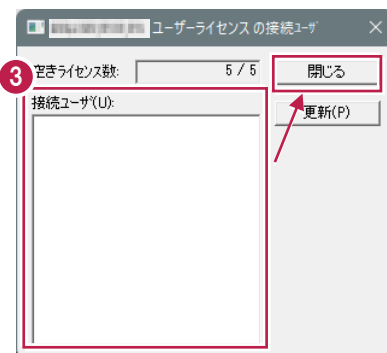
- 1 スタートメニューから、[FC SNS-LAN-X Server] - [FC SNS-LAN-X サービスコントローラ] を起動します。



- 2 [SNS-LAN-X サービスコントロール] 画面が表示されます。  
[オプション] 欄から [ユーザーライセンス] を選択して、  
[接続ユーザ] をクリックします。

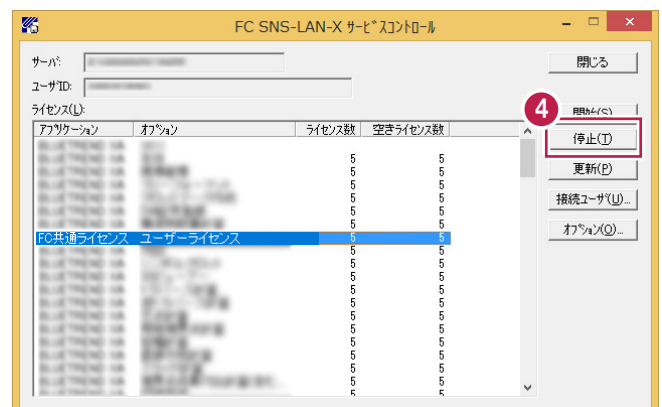


- 3 ユーザーライセンスの接続ユーザが空欄になっていることを確認し、[閉じる] を押します。



- 4 [停止] を押します。

ライセンスの解除完了後は、旧サーバーマシンの「FC SNS-LAN-X Server」をアンインストールしておくことをお勧めします。



以上で USB プロテクト (SNS-LAN-X) の解除は完了です。



## **Windows11 での作業**

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ EX-TREND 武蔵のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ 入力専用ライセンスの初期設定
- ⑦ データ・設定のリストア（復元）
- ⑧ セキュリティソフトの除外設定



# 3

## FC アカウントのインストール

新パソコン（Window11）に、EX-TREND武蔵の最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

### 3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。  
検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

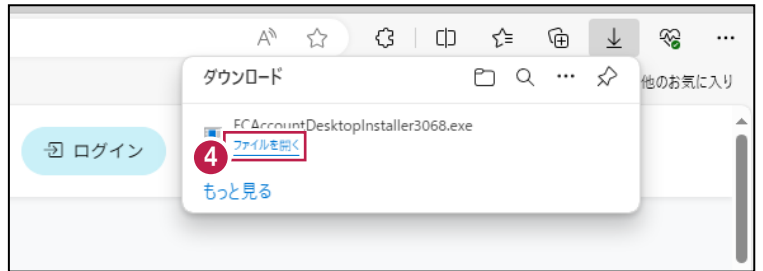
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



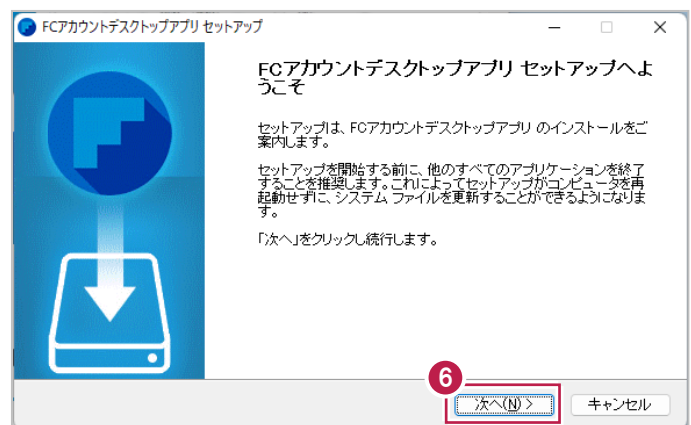
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

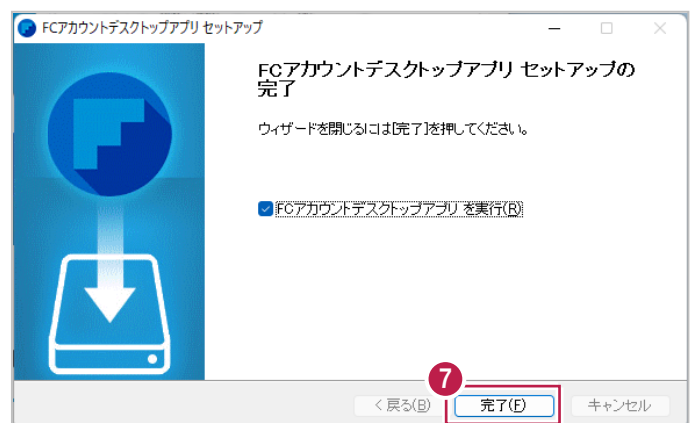


- 6 FC アカウントのセットアップが開始されます。  
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」  
（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、  
利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェック  
を付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、  
姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから  
当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12 お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービ  
ス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご契約中のお客様をお試しください。  
保守サービスをご契約中の方は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13

お客様情報のご照会に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して  
「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

④ 保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。  
インストール可能な製品が表示されます。  
※ユーザーコードと製品シリアルについては [こちら](#)

14

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

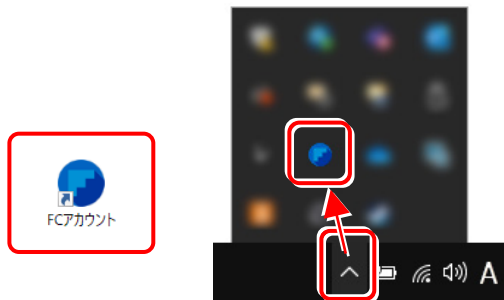


# 4

## EX-TREND 武蔵のインストール

新パソコン（Windows11）にインストールしたFCアカウントを利用して、EX-TREND武蔵を新規インストールする手順を解説します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



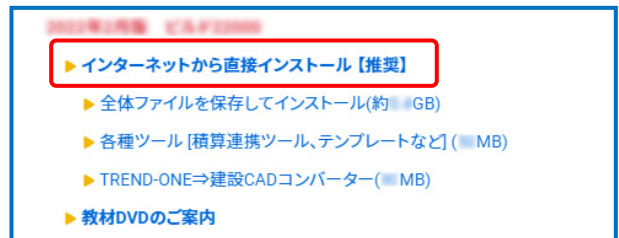
[インストール・バージョンアップ] をクリックします。



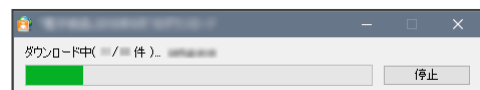
「インストール・バージョンアップ」のページにあるEX-TREND武蔵シリーズの「インストール」ボタンをクリックします。



メニューが表示されますので、「インターネットから直接インストール【推奨】」をクリックします。



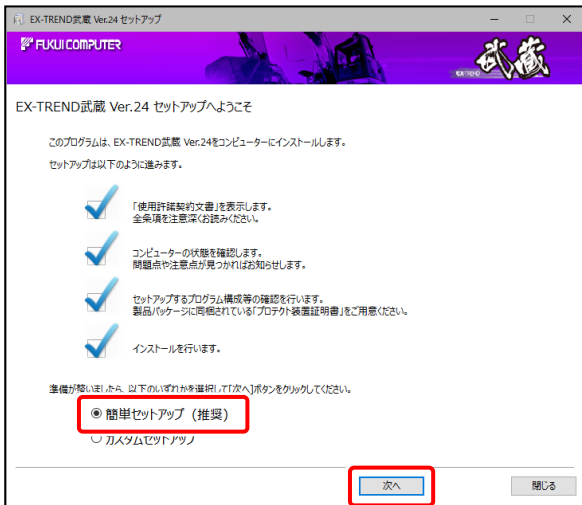
ダウンロードが開始されます。



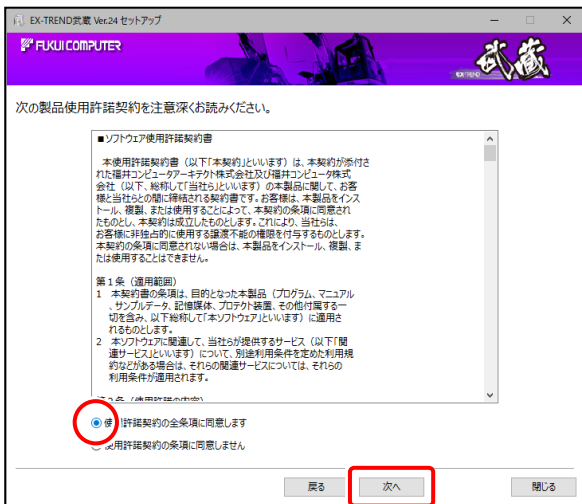


**2.** ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

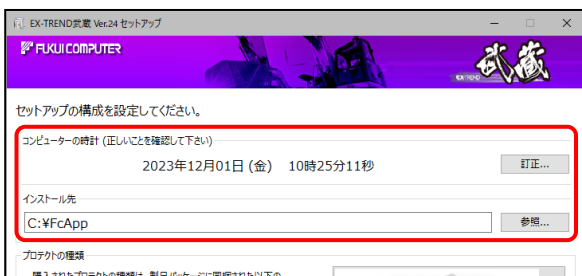
【簡単セットアップ（推奨）】を選択します。



【使用許諾契約の全条項に同意します】を選択します。

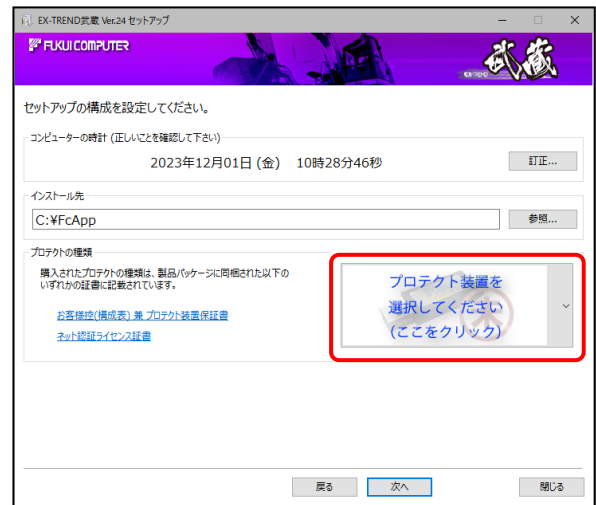


コンピューターの時計と、インストール先のフォルダーを確認します。必要があれば変更します。



※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

【プロテクト装置を選択してください】をクリックします。



ここでは「ネット認証（占有）」を選択します。

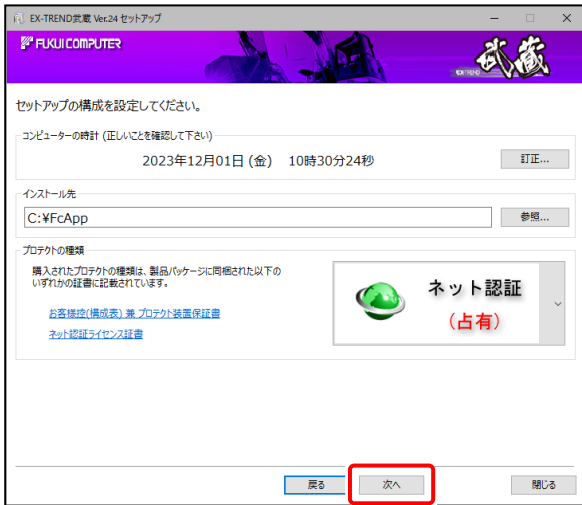


※ご利用のプロテクトによって、選択する「プロテクトの種類」は異なります。

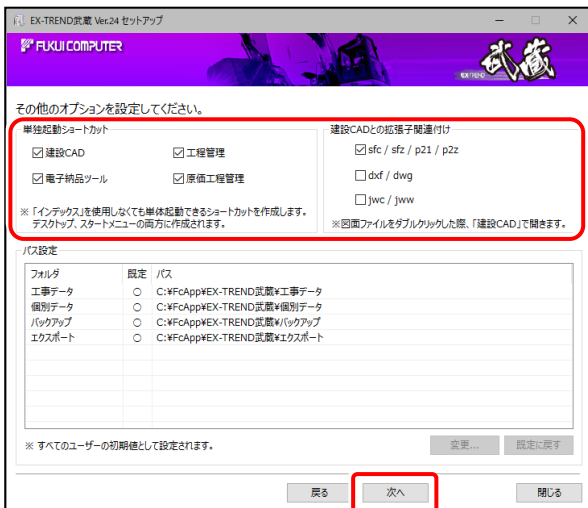
ご利用のプロテクトが分からない場合は、弊社 WEB サイト「お客様サポート」の「各プロテクトタイプの確認方法」

([https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/extra/common/mnl/manual/s11\\_protectkakunin.pdf](https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/extra/common/mnl/manual/s11_protectkakunin.pdf)) をご確認ください。

内容を確認して、[次へ] を押します。



その他のオプションを設定し、[次へ] を押します。

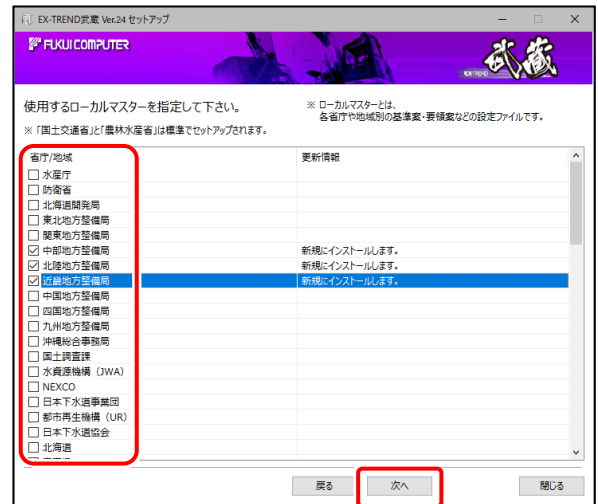


- ※ 「単独起動ショートカット」を作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。
  - ※ 「建設CADとの拡張子関連付け」を「オン」にした図面ファイルは、ダブルクリックすると「建設CAD」で開くようになります。
  - 単独起動ショートカット : すべてのチェックを「オン」
  - 建設CADとの拡張子関連付け : sfc/sfz/p21/p2z を「オン」
- でインストールすることをお勧めします。

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

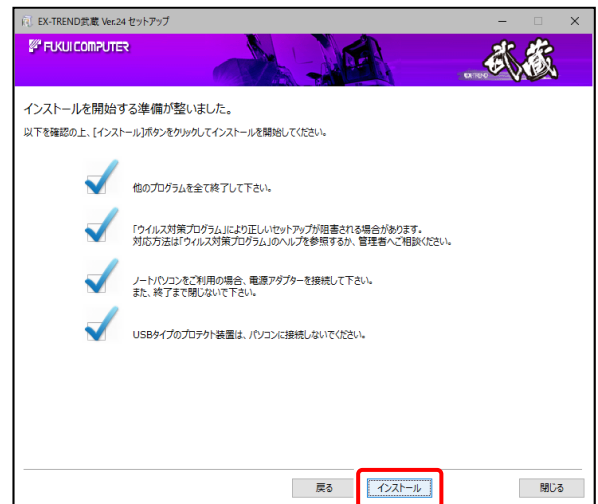
受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ] を押します。



内容を確認して、[インストール] を押します。

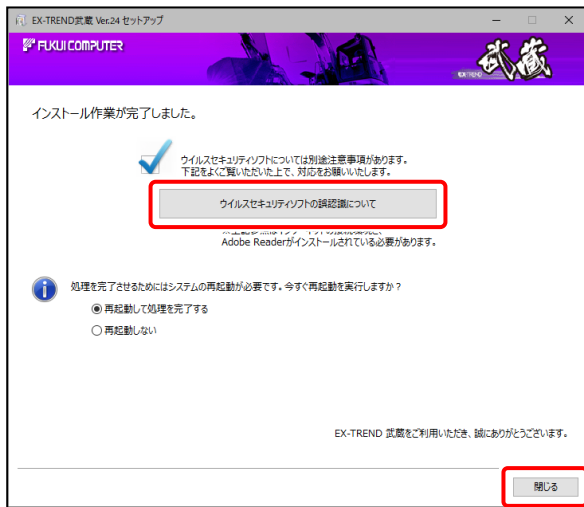
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続く)

インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、EX-TREND 武蔵が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、  
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「EX-TREND 武蔵のインストール」は完了です。

## 「各種ツール」「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」などは、必要に応じてインストールしてください

- ▶ インターネットから直接インストール【推奨】
- ▶ 全体ファイルを保存してインストール(約 1 GB)
- ▶ 各種ツール [積算連携ツール、テンプレートなど] (約 1 MB)
- ▶ TREND-ONE⇒建設CADコンバーター (約 1 MB)
- ▶ 教材DVDのご案内

※ 現在、「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」をお使いのお客様は、必ずダウンロードしてインストールしてください。

旧バージョンのコンバーターは、新バージョンのプログラムでは動作しません。

### インストール方法

ダウンロードしたファイルにある" FCSet-up.exe "を実行してください。



# 5 ライセンスの認証

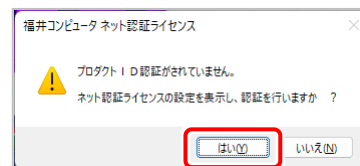
新パソコン（Windows11）でプログラムを起動して、「ライセンスの認証」をおこないます。  
 ※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

## 5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

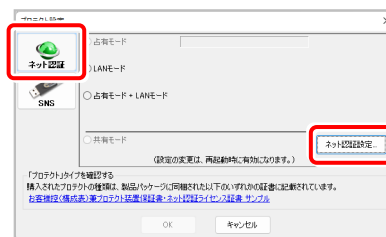
1. デスクトップの [EX-TREND武蔵 インデックス] をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい] を押して、ネット認証ライセンス（占有）の認証をおこないます。

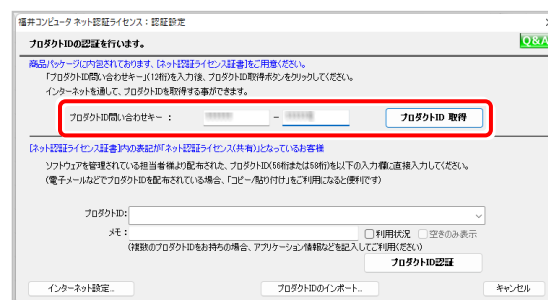


[プロテクト設定] 画面が表示された場合は、[ネット認証] を選択して、[ネット認証設定] を押します。



3. [プロダクトID問い合わせキー] を入力して、[プロダクトID取得] ボタンを押します。

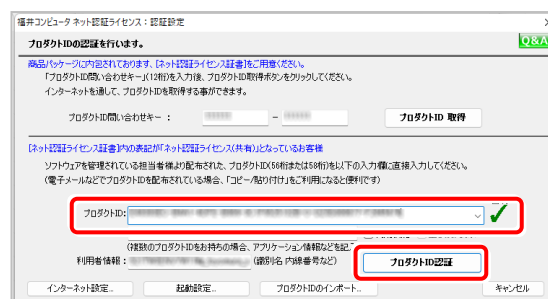
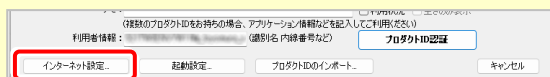
[プロダクトID] が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証] ボタンを押します。



**[プロダクトID問い合わせキー]** は 6桁+6桁 です。  
 送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。

<b>重要</b> 本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。		出荷日: [不明]
		伝票ID: [不明]
ネット認証ライセンス証書 (占有)		
ユーザーコード	[不明]	
ユーザー名	[不明]	
製品シリアル番号	[不明]	
プロダクトID	[不明]	
プロダクトID 問い合わせキー	[不明]	
商品構成	[不明]	

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

**自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します**

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切りえて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。

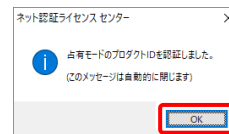
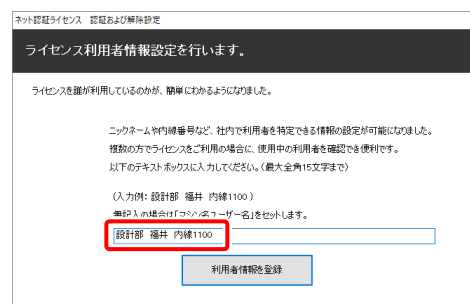
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックしてプログラムを終了します。

以上で「ネットライセンス（占有）の認証」は完了です。



## 5-2 ネット認証ライセンス（LAN）の、ライセンス取得手順

入れ替えるパソコンがサーバーの場合、「ネット認証LANサーバー（ライセンス管理プログラム）」のセットアップが必要です。  
入れ替えるパソコンがクライアントの場合、「Step1 ネット認証LANサーバーのインストール」、「Step2 プロダクトID認証（サーバー）」の作業は不要です。「Step3 ネット認証LANライセンスの取得」に進んでください。

### Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

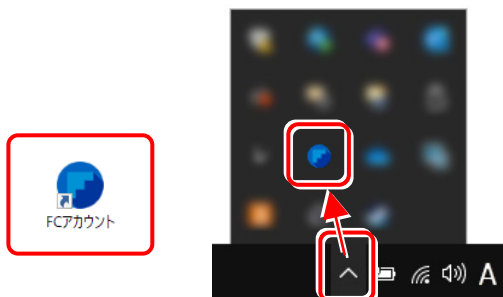
※この操作はサーバーパソコンを入れ替える場合に新サーバーで行う操作です。

クライアントパソコンでは不要な操作です。

クライアントパソコンのライセンス取得方法は「Step3 ネット認証LANライセンスの取得」に進んでください。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

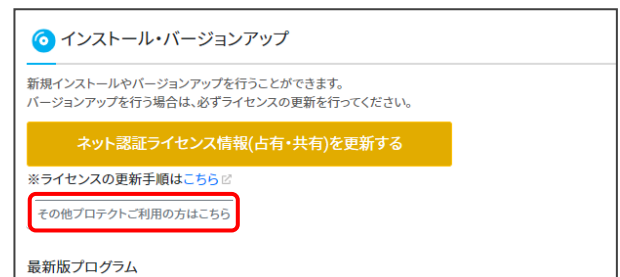
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



2. [インストール・バージョンアップ] をクリックします。



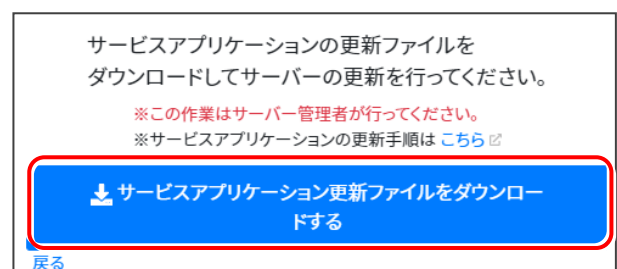
3. [その他プロテクトをご利用の方はこちら] をクリックします。



4. [LAN型 ネット認証プロテクトをご利用のお客様] をクリックします。

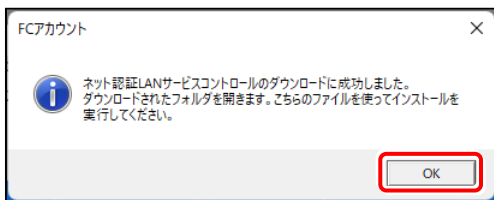
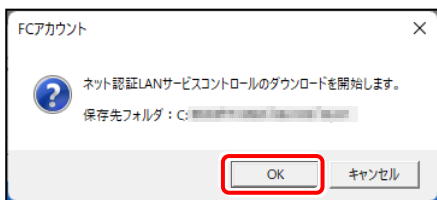
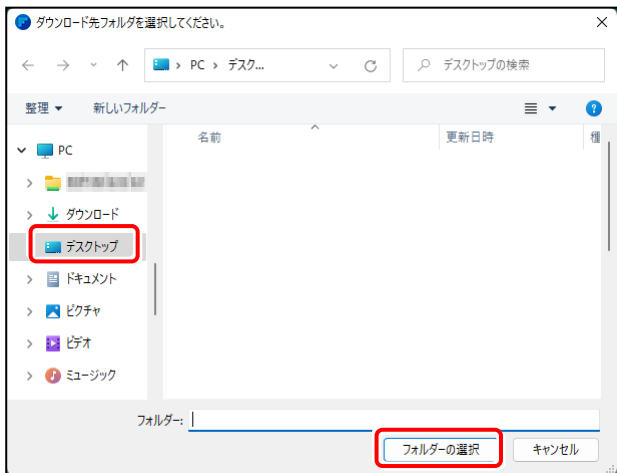


5. [サービスアプリケーション更新ファイルをダウンロードする] をクリックします。



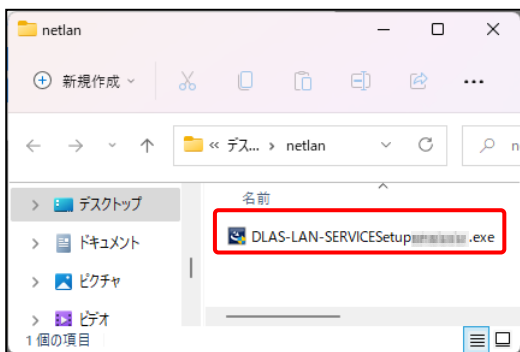
(次ページへ続く)

6. ダウンロードするファイルの保存先を指定して、[OK] をクリックします。

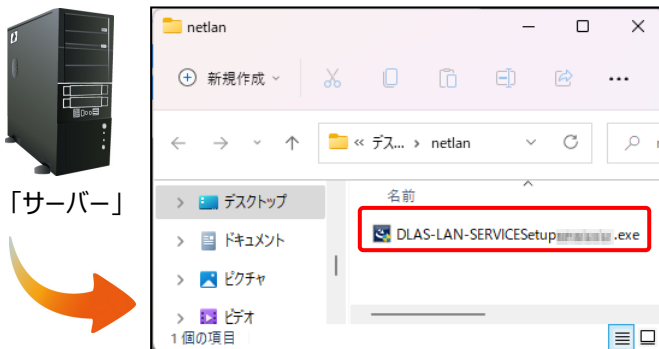


7. ダウンロード先に "netlan" フォルダが作成されます。フォルダ内の更新用ファイルを、エクスプローラーなどを利用して、DVDやUSBメモリに書き込んでサーバーへ移動してください。

(サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。)

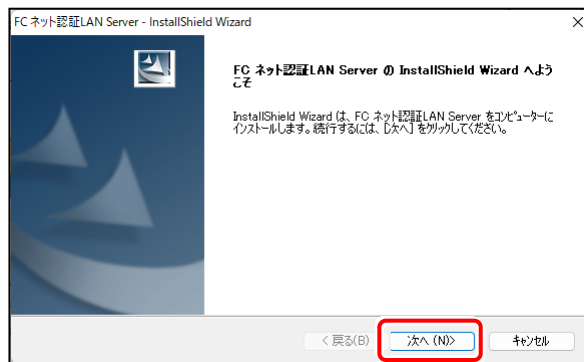


8. ネット認証ライセンス (LAN) のサーバーで、更新用ファイル "DLAS-LAN-SERVICESetup~.exe" を、実行します。

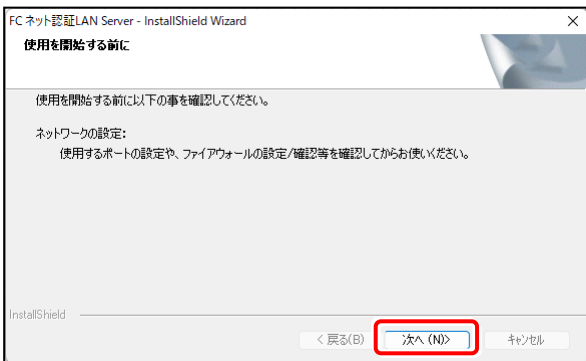


9. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。

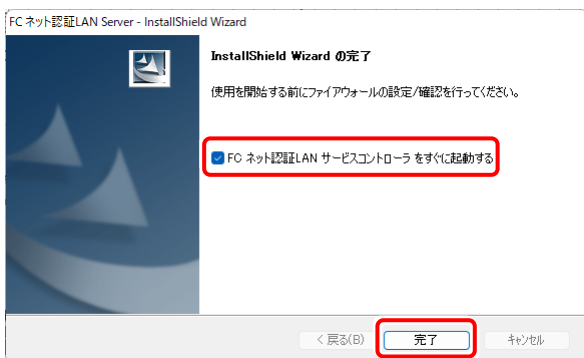
表示される画面は、異なる場合があります。



(次ページへ続く)



**10.** [FCネット認証LAN サービスコントローラをすぐに起動する] をONにして、[完了] をクリックします。



(次ページ「Step2」へ進みます)



## Step2 | プロダクトIDの認証 (サーバー)

インターネットを通して、プロダクトIDの認証を行います。

この処理により プロダクトIDに関連付けられたライセンスを使用できるようになります。

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール] 画面から [ライセンス認証] をクリックします。



※ 上記画面が表示されていない場合は、

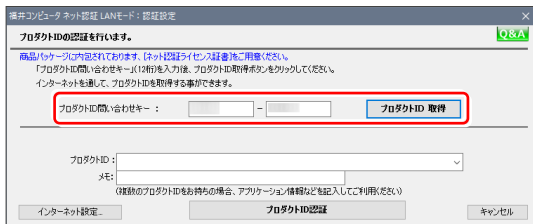
**Windows11** : スタートメニューの「すべてのアプリ」

**Windows10** : スタートメニュー

から、[FC ネット認証LAN Server] – [FC ネット認証LAN サービスコントローラ] を起動してください。

詳細は「**[補足] スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順**」を確認してください。

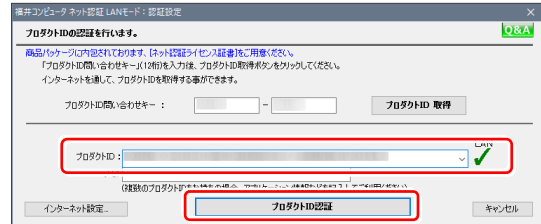
2. [認証設定] 画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー] を入力して、[プロダクトID取得] をクリックします。



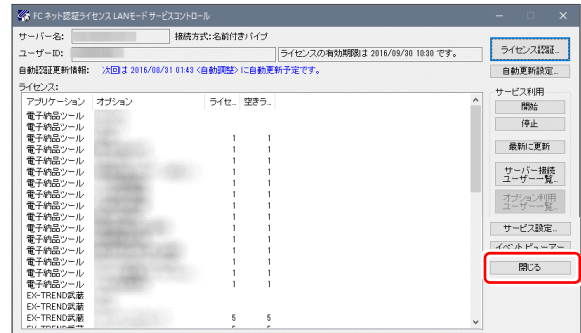
※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書 (LAN)」に記載されています。

重要	
本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。	発行日: 2016/09/30 18:30 伝票ID: *****
ネット認証ライセンス証書 (LAN)	
ユーザーコード	XXXXXXXXXX
ユーザー名	XXXXXXXXXX
製品シリアル番号	XXXXXXXXXX
プロダクトID 問い合わせキー	XXXXXXXXXX
商品構成	XXXXXXXXXX

3. [プロダクトID] が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証] をクリックします。

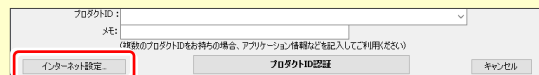


4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる] をクリックします。



(次ページ「Step3」へ進みます)

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



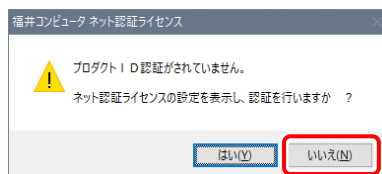
### Step3 | ネット認証ライセンスの取得

新パソコンにインストール済みのプログラムを起動して、ネット認証ライセンスのモード（占有、LAN、占有モード+LANモード、共有モード）を指定します。

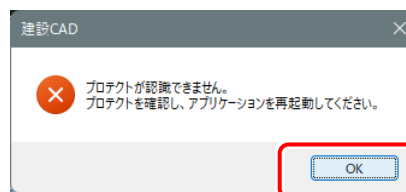
1. デスクトップの「EX-TREND武蔵 インデックス」をダブルクリックして起動します。



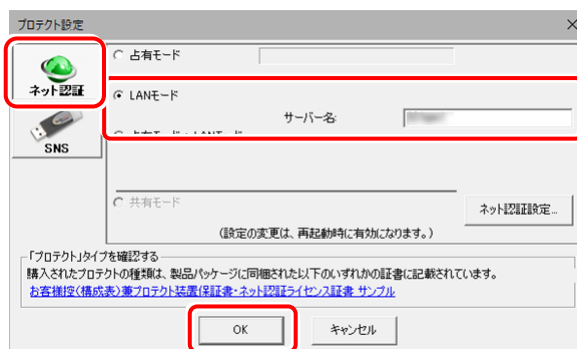
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ] を選択します。



次に表示されるメッセージは [OK] をクリックします。



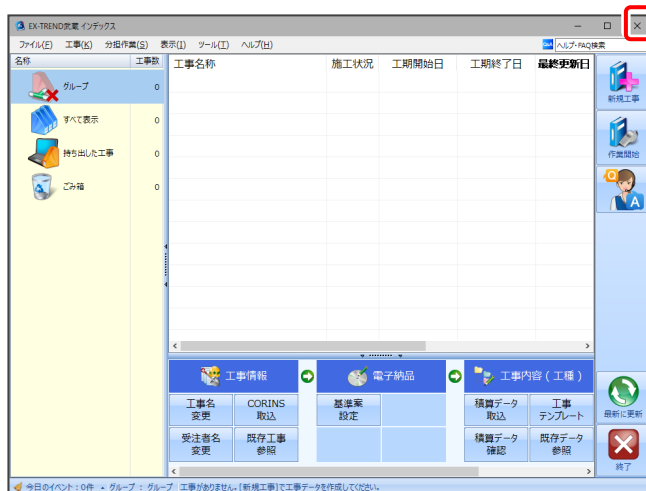
3. [プロダクト設定] 画面が表示されるため [ネット認証] の [LANモード] を選択して [サーバー名] に「FCネット認証LAN Server」をインストールした新サーバーマシン名を入力します。 入力を終わったら [OK] をクリックします。



4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の [×] ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で、「ネット認証ライセンス (LAN) のライセンス認証」は完了です。



## 5-3 USBプロテクト (SNS-LAN-X) のライセンス取得手順

入れ替えるパソコンがサーバーの場合「SNS-LAN-X サーバー (ライセンス管理プログラム)」のセットアップが必要です。  
入れ替えるパソコンがクライアントの場合、「Step3 プロテクトの認証」に進んでください。

### Step1 | プロテクトドライバのインストール

※この操作はサーバーパソコンを入れ替える場合に新サーバーで行う操作です。

クライアントパソコンでは不要な操作です。

クライアントパソコンでのライセンス取得方法は「Step3 プロテクトの認証」に進んでください。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

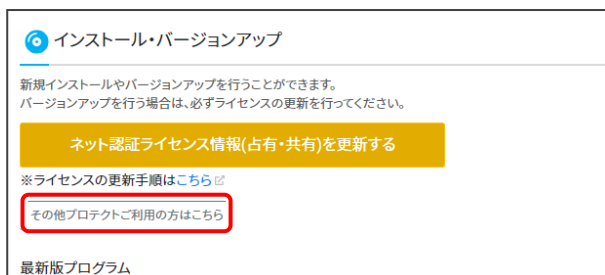
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



2. 「インストール・バージョンアップ」をクリックします。



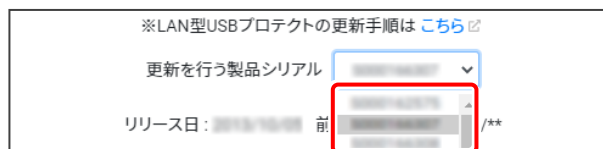
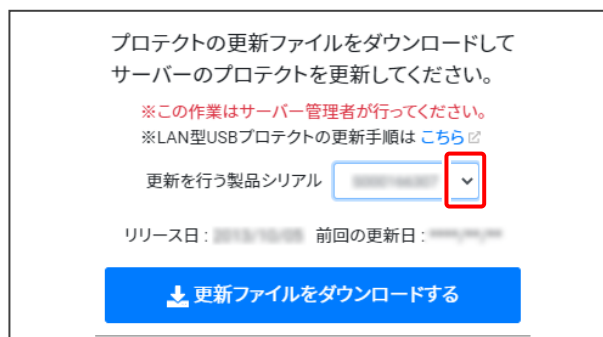
3. 「[その他プロテクトをご利用の方はこちら]」をクリックします。



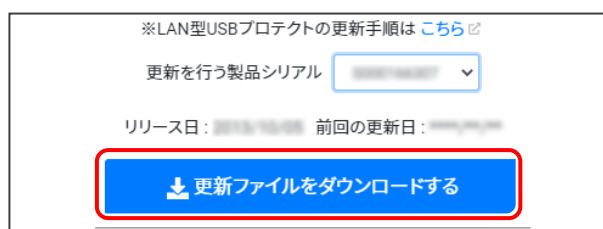
4. 「LAN型 USBタイプのプロテクトをご利用のお客様」をクリックします。



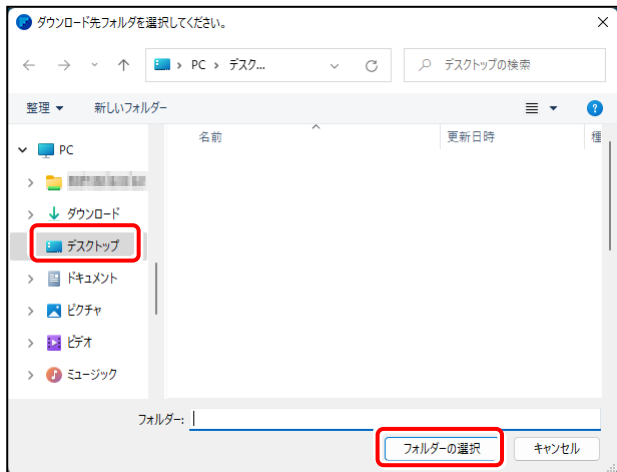
5. ライセンスの認証をおこなうUSBプロテクトの「製品シリアルNo.」を、リストから選択します。



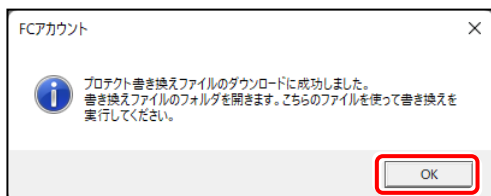
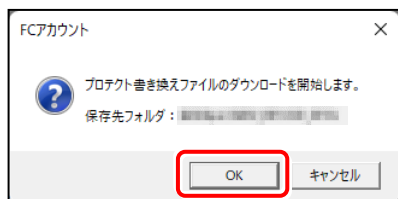
6. 「更新ファイルをダウンロードする」をクリックします。



7. 更新ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、  
[フォルダーの選択] をクリックします。

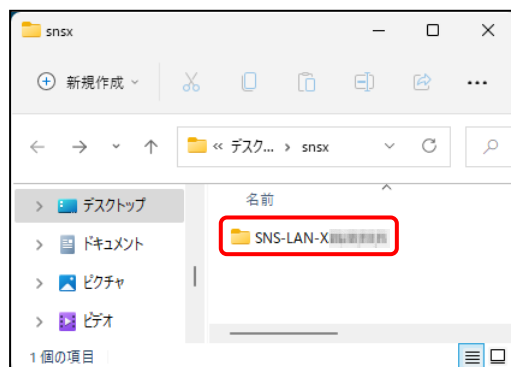


8. [OK] をクリックすると、ダウンロードが開始されます。



9. ダウンロードが完了すると、エクスプローラーが開かれ、ダウンロード先に "snsx" フォルダが作成されます。  
フォルダ内の「更新ファイル」を、エクスプローラーなどを利用して、DVDやUSBメモリに書き込んでサーバーへ移動してください。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）



10. 弊社商品のプロテクトに限らず、サーバーにUSBプロテクトが装着されている場合は、**全て外します**。

※ **重要！！**

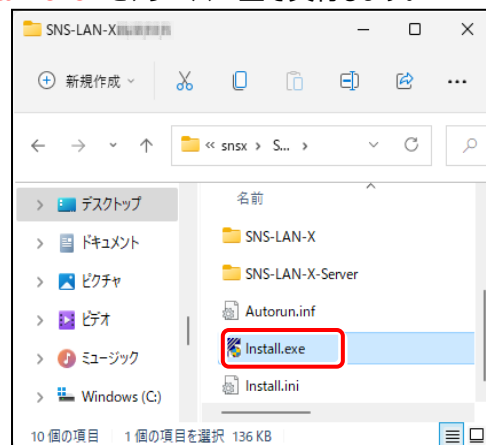
USBプロテクトは、  
まだサーバーに  
装着しないでください。



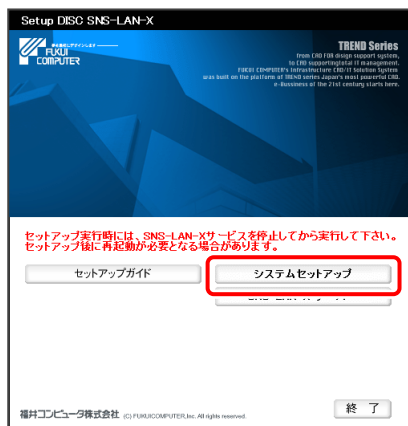
11. ダウンロードした「更新用ファイル」内の  
" SNS-LAN- X \*\*\*\*\* "フォルダ内にある  
" Install.exe "を、サーバー上で実行します。



「サーバー」



12. Setup画面より、[システムセットアップ] をクリックします。



13. USBプロテクトの画像ボタンをクリックします。



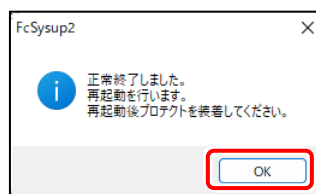
14. 「SNS-LAN-X」をクリックします。



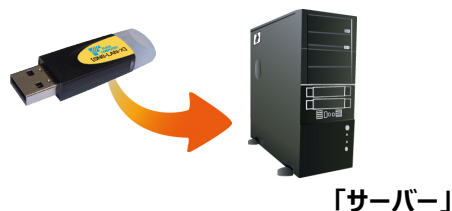
15. サーバーにUSBプロテクトが装着されていないことを確認したら、[はい] をクリックします。



16. インストールが終了したら再起動を促すメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてサーバーを再起動します。



17. サーバーにUSBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着します。  
自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

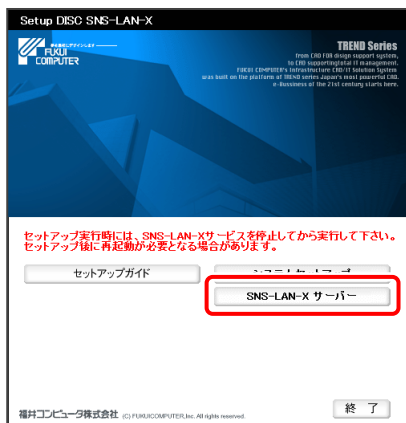


(次ページ「Step2」へ進みます)

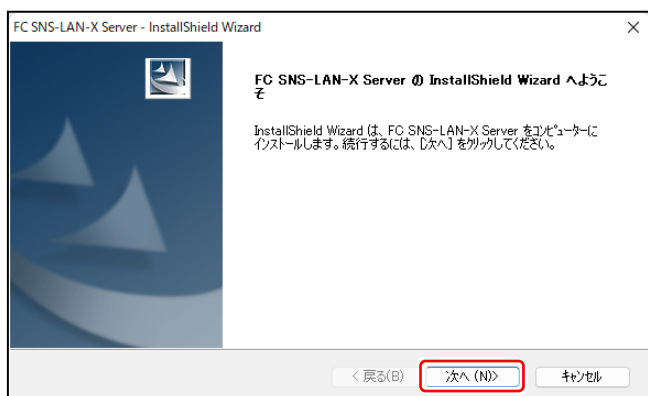
## Step2 | SNS-LAN-Xサーバーのインストール

サーバーにライセンス管理ツール（SNS-LAN-X サーバー）をインストールします。

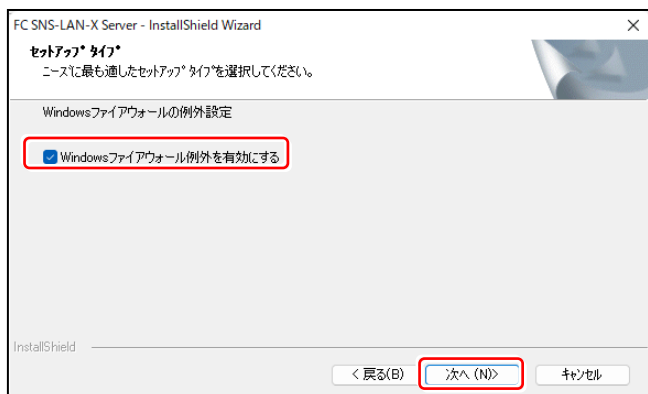
1. Setup画面より [SNS-LAN-X サーバー] をクリックします。



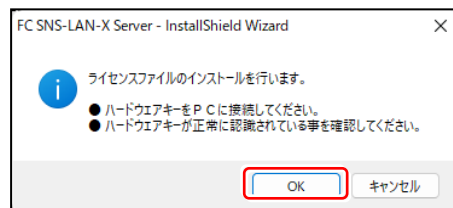
2. [次へ] をクリックします。



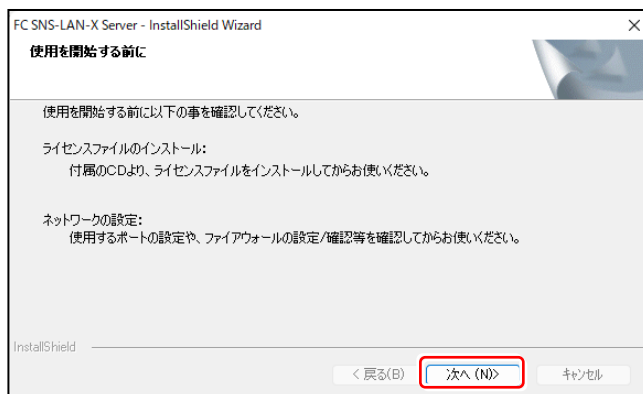
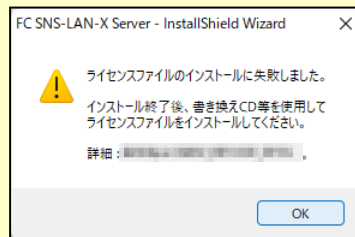
3. [Windowsファイアウォール例外を有効にする] をONにして、[次へ] をクリックします。



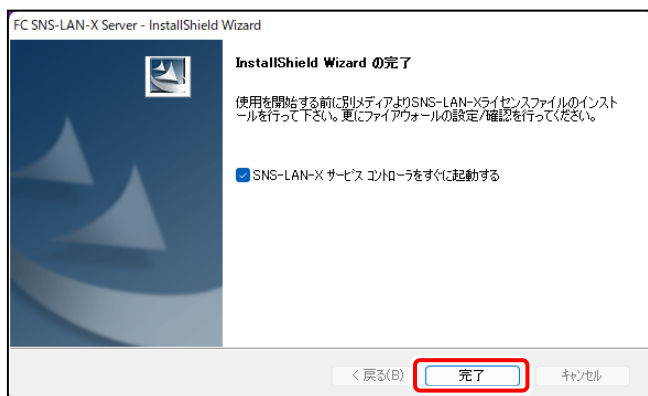
4. 表示される画面に従って、インストールを開始します。



※ 下記画面が表示された場合は、プロテクトが正常に認識されているか確認してください。



## 5. [完了] をクリックします。



(次ページ「Step3」へ進みます)

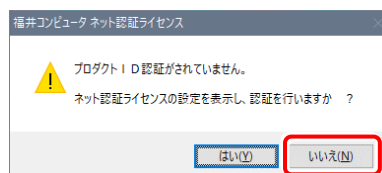
### Step3 | プロテクトの認証

新パソコンにインストール済みのプログラムを起動して、USB プロテクトのモード（USB ローカル、LAN、USB ローカル+LAN）を指定します。

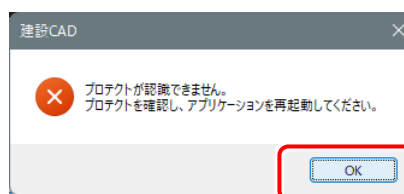
1. デスクトップの [EX-TREND武蔵 インデックス] をダブルクリックして起動します。



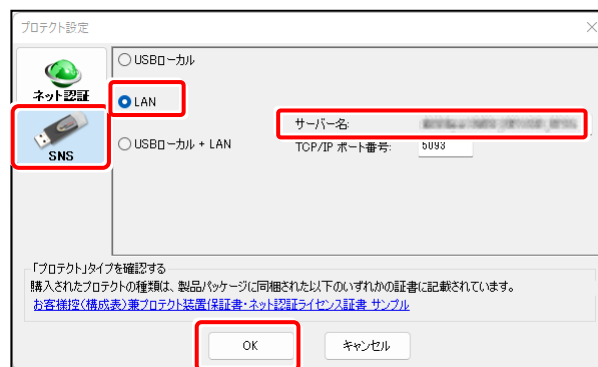
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ] を選択します。



次に表示されるメッセージは [OK] をクリックします。



3. [プロテクト設定] 画面が表示されるため [SNS] の [LAN] を選択して [サーバー名] に新サーバーマシン名を入力します。  
入力を終わったら [OK] をクリックします。



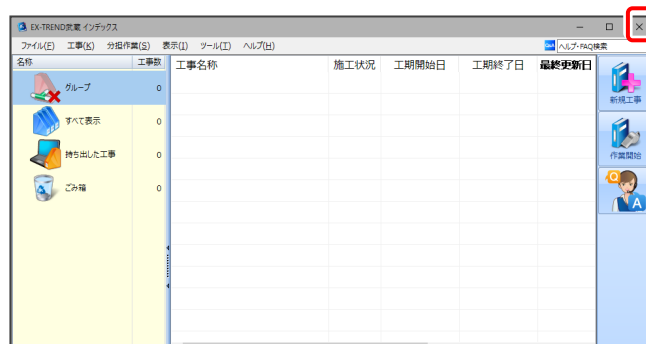
※サーバーパソコン名が不明な場合は、既に USB プロテクト (SNS-LAN) で起動できている他のクライアントパソコンの「プロテクト設定」でサーバー名を確認するか、サーバー管理者にご確認ください。

※「プロテクト設定」の確認方法は、弊社 WEB サイト「お客様サポート」の「[USB プロテクト \(SNS-LAN-X タイプ\)](#)」の「補足」を参照してください。

4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の [×] ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

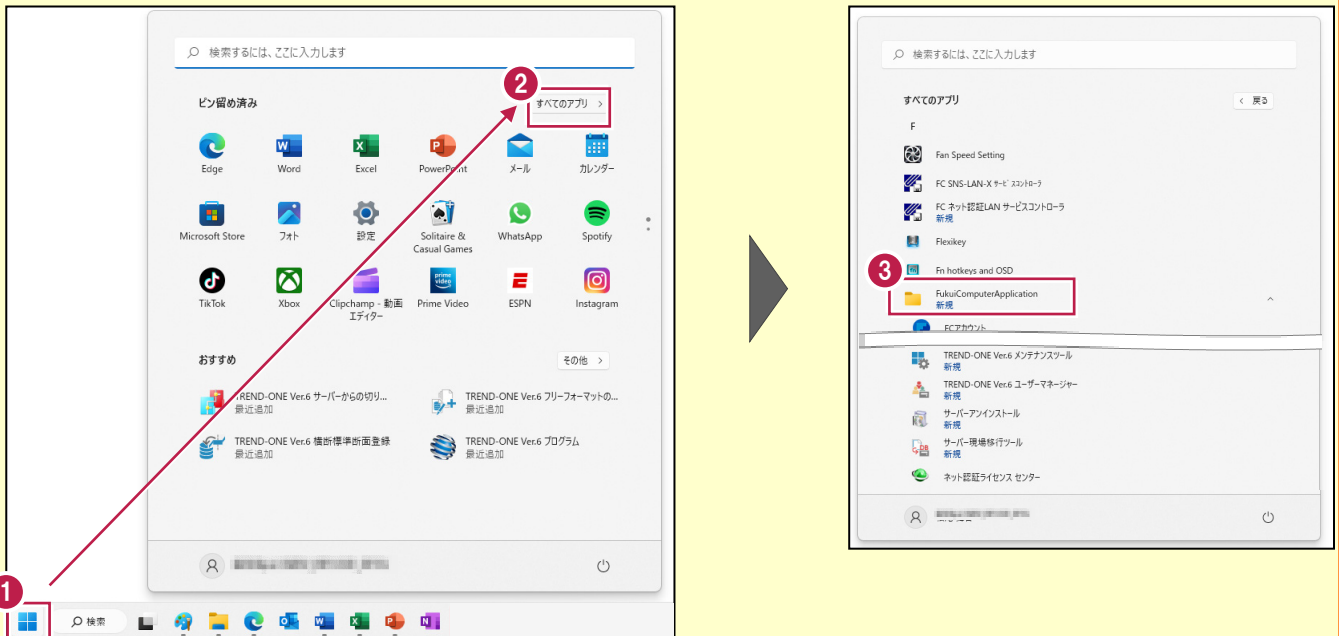
以上で、「USBプロテクト (SNS-LAN-X) の認証」は完了です。



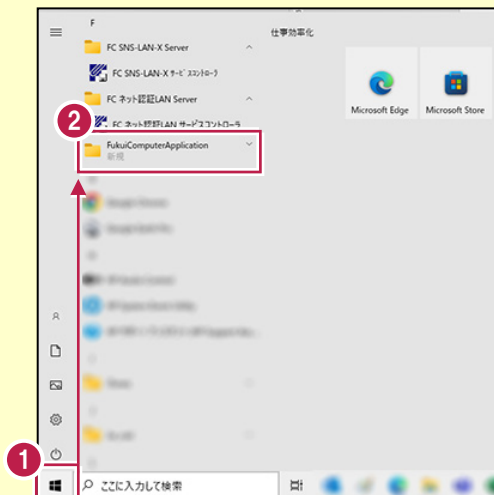


## [補足] スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順

### ● Windows11の場合



### ● Windows10の場合





## 6

# 入力専用ライセンスの初期設定

入力専用ライセンスを使用すると、プロテクトが無い状態でも、印刷や成果の出力以外の作業をおこなうことができます。

ここでは新パソコン（Windows11）の、入力専用ライセンスの初期設定をおこないます。

### 6-1 ネット認証ライセンス（占有）を認証する

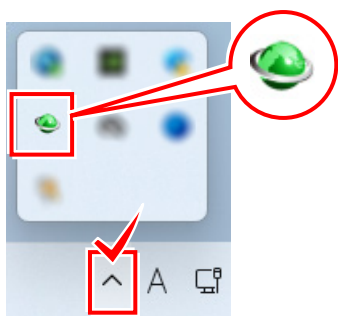
入力専用ライセンスに、「ネット認証ライセンス」からライセンス情報を取得します。ライセンス情報の取得時には、ネット認証ライセンスを「認証済み」の状態にする必要があります。

1. 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FCネット認証ライセンスセンター」のアイコンを確認します。

アイコンが「**緑色**」の場合は、ネット認証ライセンスは「認証済み」です。

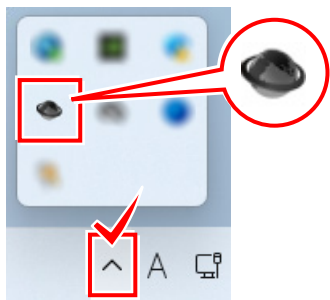
次ページ

「入力専用ライセンスに、ライセンス情報を取得する」に進みます。

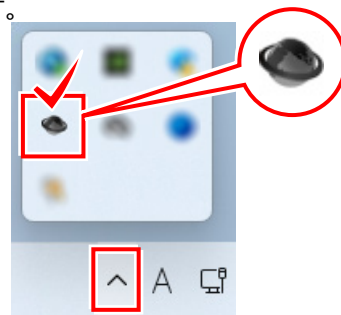


アイコンが「**灰色（グレー）**」の場合は、ネット認証ライセンスが認証されていません。

2. の手順に進み、ネット認証ライセンスを認証します。

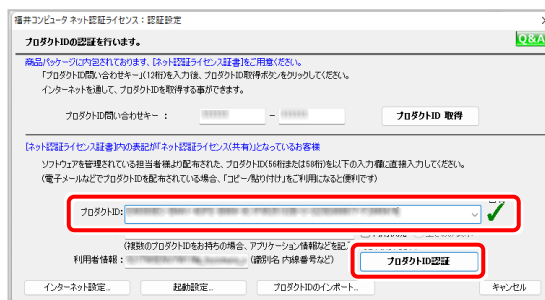


2. 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FCネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

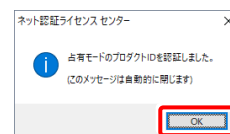


3. 「認証設定」画面が表示されます。

「プロダクトID」を確認して、[プロダクトID認証]を押します



ネット認証ライセンスが認証されます。



ネット認証ライセンス（LAN）を使用している場合は、「5 ライセンス認証」の「Step3 | ネット認証ライセンスの取得」を参照してください。

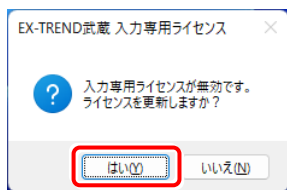
USBプロテクト（SNS-LAN-X）を使用している場合は、「5 ライセンス認証」の「Step3 | プロテクトの認証」を参照してください。

もしくは、弊社WEBサイト「お客様サポート」の「各ライセンス・プロテクトの認証方法」を参照して認証してください。

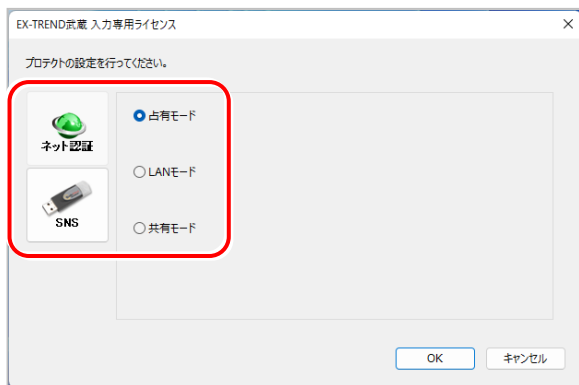
## 6-2 入力専用ライセンスに、ライセンス情報を取得する

認証中の「ネット認証ライセンス」から、入力専用ライセンスにライセンス情報を取得します。

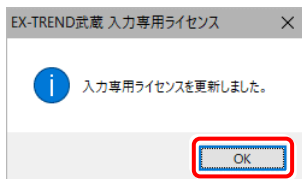
1. デスクトップの「入力専用ライセンス」をダブルクリックして起動します。



2. 使用するプロテクト（ライセンスの取得先のプロテクト）を選択して、[OK] を押します。



[LANモード] を選択した場合は、プロテクトのサーバー名を入力してください。



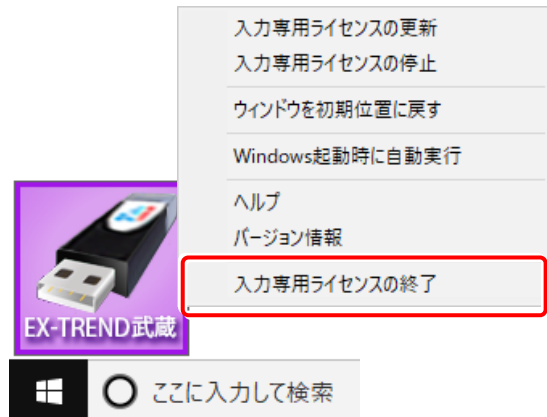
3. ライセンス情報が取得され、デスクトップ左下に「入力専用ライセンス」が起動します。



4. 入力専用ライセンスは、使用しないときには終了させておきます。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

[入力専用ライセンス] でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了] コマンドを実行します。



以上で、「入力専用ライセンスの初期設定」は完了です。



# 7 データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows8.1）でバックアップしたEX-TREND武蔵の「工事データ」と「設定」を、新パソコン（Windows11）のEX-TREND武蔵にリストア（復元）します。

## 7-1 バックアップした工事データをリストア（復元）する

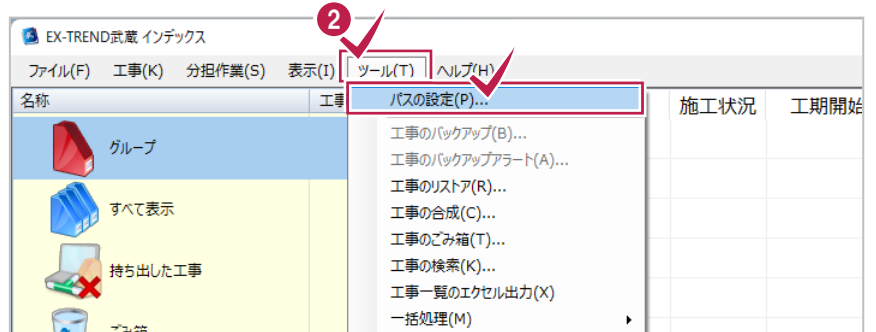
バックアップした工事データをリストア（復元）する手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。

1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア

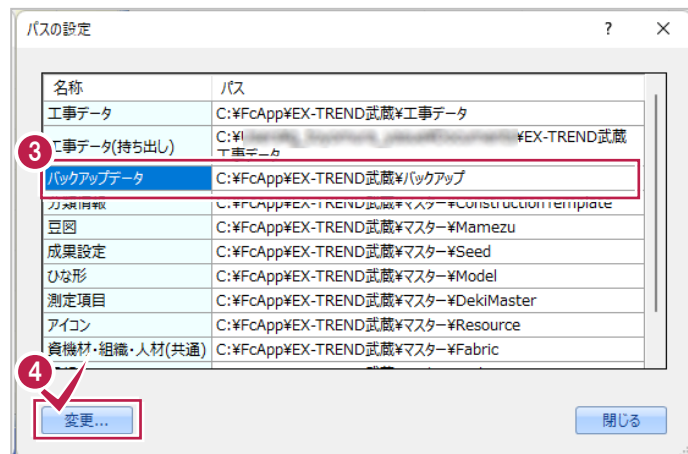
- 2 インデックスを起動して、リストア（復元）するバックアップデータの保存先フォルダーを指定します。

インデックスの  
[ツール] - [パスの設定]  
をクリックします。

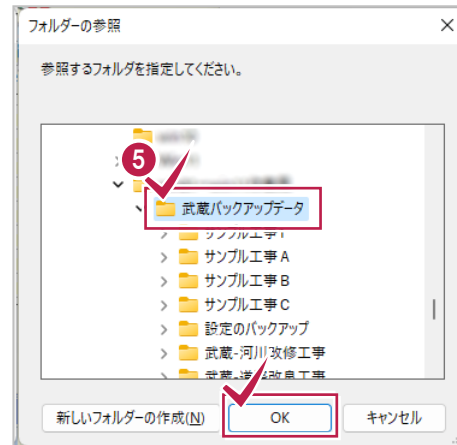


- 3 「バックアップデータ」を選択して「パス」を確認します。

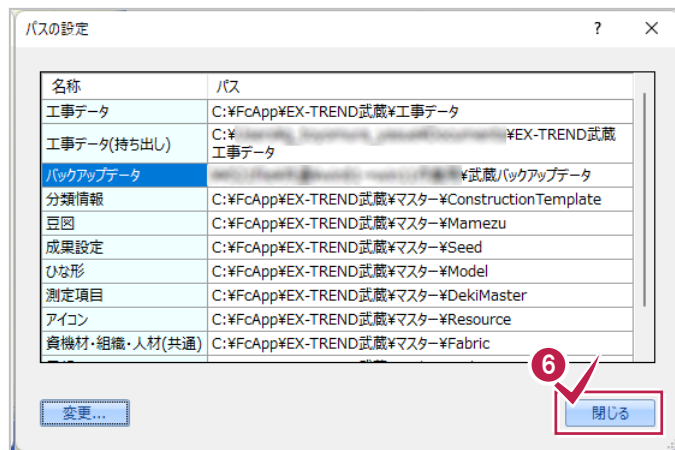
- 4 「パス」がバックアップデータの保存先フォルダーと異なる場合は、[変更] をクリックします。



- 5 バックアップデータの保存先フォルダーを選択し、  
[OK] をクリックします。

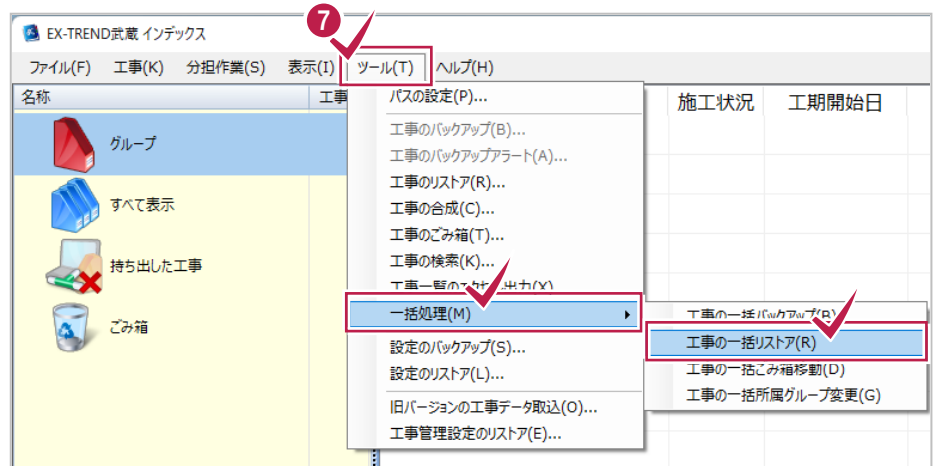


- 6 [閉じる] をクリックします。



- 7 工事データのリストア（復元）を実行します。

インデックスの  
[ツール] - [一括処理] -  
[工事の一括リストア]  
をクリックします。



- 8 バックアップデータ内にある工事名が表示されます。

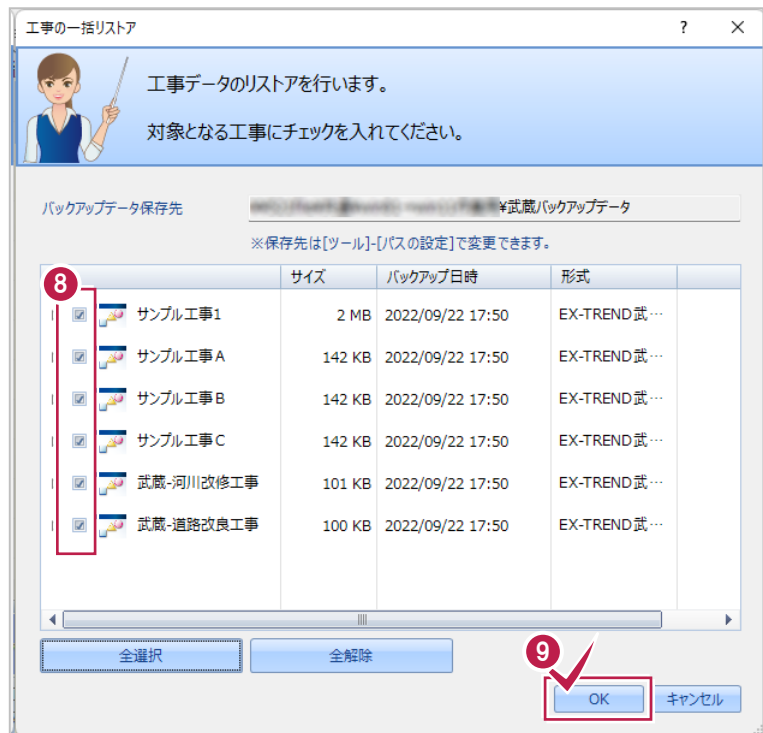
リストア（復元）する工事名のチェックを「オン」にします。

すべての工事データをリストア（復元）する場合は【全選択】をクリックします。

**リストア（復元）したい工事データの  
工事名が表示されない場合は**

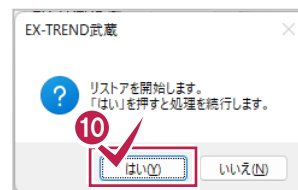
インデックスの【ツール】 - 【パスの設定】で、「バックアップデータ」の「パス」を、バックアップデータの保存先フォルダに変更して下さい。

- 9 【OK】 をクリックします。

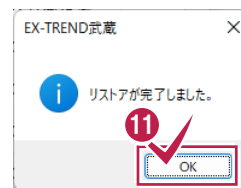


- 10 【はい】 をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



- 11 リストア（復元）が完了したら【OK】 をクリックします。

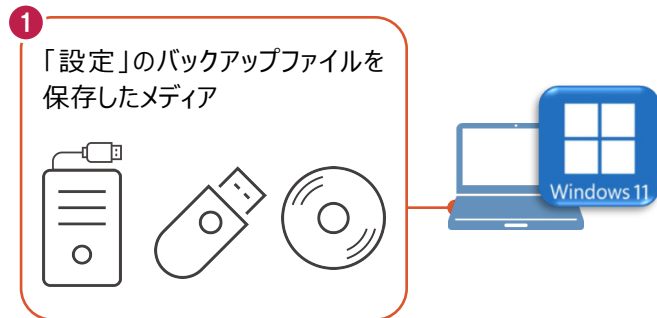


以上で、「工事データのリストア（復元）」は完了です。

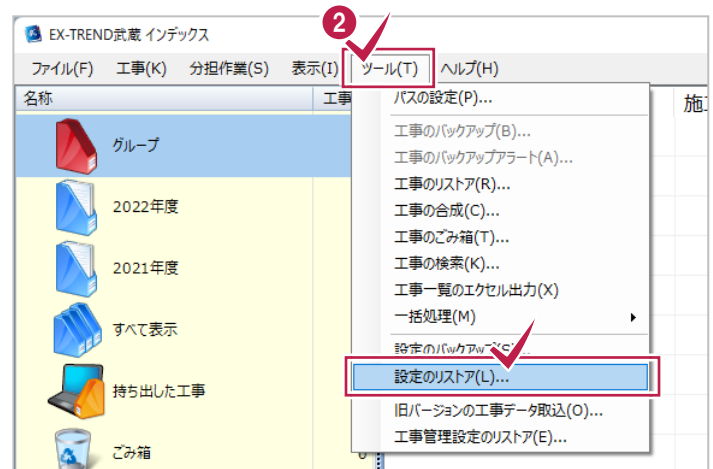
## 7-2 バックアップした設定をリストア（復元）する

バックアップした設定をリストア（復元）する手順です。 ※インデックス以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、新パソコンにセットします。

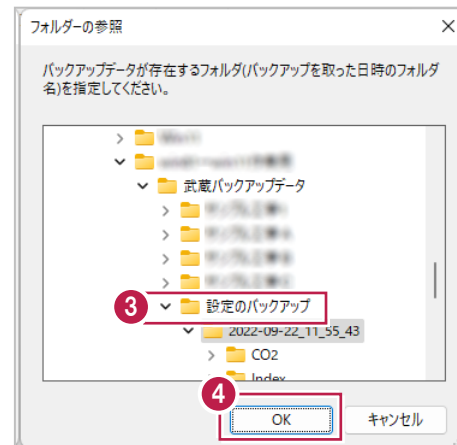


- 2 インデックスの  
[ツール] - [設定のリストア]  
をクリックします。



- 3 設定をバックアップしたフォルダー（日時のフォルダー）を指定します。

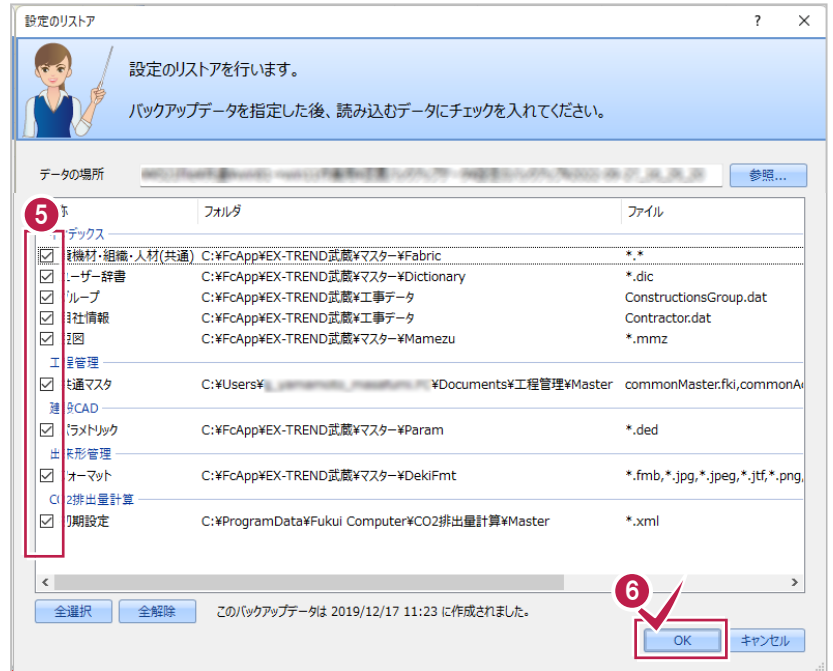
- 4 [OK] をクリックします。



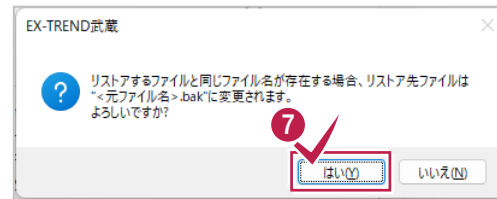
5 リストア（復元）する設定のチェックを「オン」にします。

すべての設定をリストア（復元）する場合は「全選択」をクリックします。

6 [OK] をクリックします。



7 [はい] をクリックすると設定のリストア（復元）が開始されます。



8 リストア（復元）が終了したら [OK] をクリックします。



以上で、「設定のリストア（復元）」は完了です。





## 8

# セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

### 8-1 除外設定の手順書を開く

- 1 お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。



- 2 「その他お困りごと」をクリックします。



- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。  
内容を確認してください。



- ④ セキュリティソフトの除外設定の手順書が表示されます。  
お使いになっているセキュリティソフトに合わせて「Q:」をクリックします。  
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

